

た、個人や一機関の力でそれを行うには限界があります。

そこで、神戸市立須磨海浜水族園では身近なカメたちの生息状況を調査していただける「親子調査員」を2010年7月より広く市民に募集しました。現在20組の親子が参加しており、約80箇所（河川や湖沼）における淡水カメの情報が寄せられています。親子調査員のように、そこに住む住民が身近な自然に目を向けて、調査を行う体制が整えば、広範囲で長期的なモニタリングを行うことができるのではと考えています。どんな断片的な情報でも、それを長期間にわたって集め、解析することで、淡水カメを中心とした日本の陸水の生態系の変化をモニタリングしていきたいと考えています。

---

## 兵庫県加古川市 中の池のスッポンの亀記録(2010年)

杉谷明宏<sup>1</sup>・杉谷慎一郎<sup>1</sup>・谷口真理

<sup>1</sup>スマスイ調査員

Records of Chinese soft shell turtle (*Pelodiscus sinensis*) in Kakogawa City,  
Hyogo prefecture(2010)

By Akihiro Sugitani<sup>1</sup>, Shinichiro Sugitani<sup>1</sup>, and Mari Taniguchi

<sup>1</sup>Sumasui fieldobserver

---

2010年9月23日、兵庫県加古川市と播磨町との市町境の中の池に、淡水カメ捕獲用のカメ網を設置し、淡水カメを捕獲した。捕獲したカメはスッポンのみ4個体であった。スッポンは神戸市立須磨海浜水族園に持ち込み、背甲長、背甲幅等をノギスにより計測した。計測値を表1に示す。中の池は標高0m、海からの距離は1.5kmで加古川の河口部に近く、市街地に近い場所に位置する。このような場所にスッポンのみが捕獲されることは珍しいと思われるので、ここに記録として残す。また、本4個体は標本として、兵庫県立大学自然・環境科学研究所に寄贈された。

表1. 捕獲したスッポンの計測値

背甲長(mm)	背甲幅(mm)	腹甲長(mm)	尾長(mm)	腹甲先端～総排泄孔(mm)	体重(g)
152.4	128.8	122.6	48.9	41.6	608
163.1	139.0	127.2	62.1	52.9	659
202.6	164.5	151.0	92.1	70.8	1121
281.3	226.9	195.0	120.0	99.3	2787